

キャンパス・セクシュアル・ハラスメント全国ネットワーク

第9回 全国集会

テーマ:「二次被害を生まないシステムと人づくり」

日時:2003年7月5日(土)、6日(日)

場所:岡山大学自然科学研究科棟(岡山県岡山市 津島キャンパス)

(http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/GRADUATE_SCHOOL/23_j.html 参照)

第1日(7月5日)

12:30 受付開始

13:00~15:00 ワークショップ

ワークショップ1「〈スクール・セクシュアル・ハラスメント〉防止と解決に向けて」

ワークショップ2「CAP(子どもへの暴力防止)ワークショップ~

誰にでも〈安心〉〈自信〉〈自由〉の権利がある~」

ワークショップ3「ウェン・ドー(WEN-DO)~女性のための安心創出法ワークショップ」

15:30~17:00 基調講演

「セクシュアル・ハラスメント事件へのサポート~被害者代理人としての立場から~」

雪田樹理氏(弁護士・横山ノックセクハラ事件被害者弁護団事務局長)

18:30~ 懇親会

第2日(7月6日)

10:00~12:00 分科会&ワークショップ

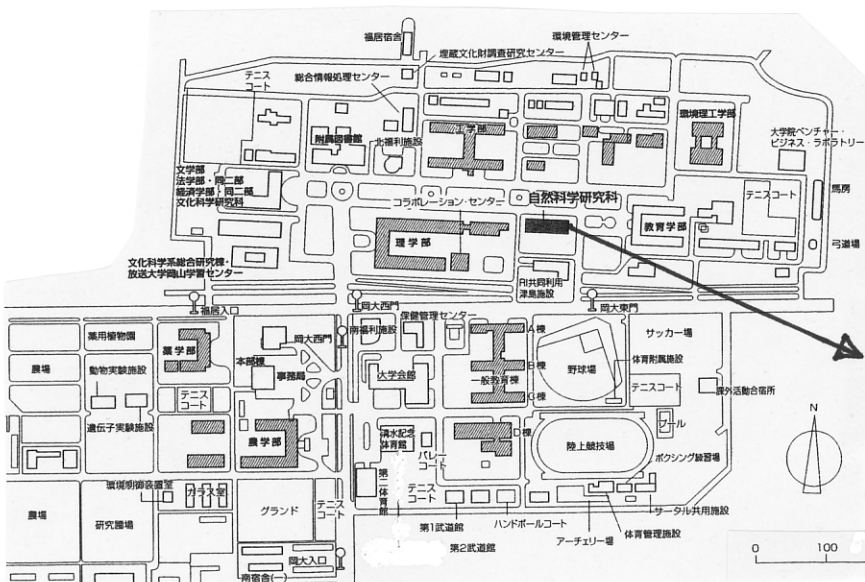
ワークショップ4「セクシュアル・ハラスメント研修体験ワークショップ~大学は何をすべきか」

分科会1「セクハラ専門相談員の役割」

分科会2「〈アカハラ〉を考える~概念再考と課題・可能性学生ネットワークの確立を目指して」

分科会3「弁護士との連携を考える」

13:30~15:30 全体会



★ 参加費

一般(全国ネット会員) 2000円

一般(非会員) 3000円

学生 1000円

*1日目の基調講演のみ参加の方は、一般、学生共 1000円

会場はここです

(自然科学研究科)

JR岡山駅から岡山大学自然科学研究科(津島キャンパス)への行き方:

- ・岡山駅正面(東口)バスターミナル4番乗り場から岡電バス「岡山大学・妙善寺」行き(17番)に乗り、「岡大東門」で下車(所要時間15~20分)。
 - ・岡山駅西口バス乗り場から岡電バス「岡山理科大」行きに乗り、「岡大西門」で下車(主要時間10分)。
- いずれも土・日は便数が多くありません。時刻表はこちら(<http://dome.ruru.ne.jp/morigen/timetable>)
- ・岡山駅西口からタクシーで7分(1000円程度)。

主催:キャンパス・セクシュアル・ハラスメント全国ネットワーク 後援:岡山大学職員組合

第9回大会事務局、問い合わせ先:SANIO(セクハラアカハラネットワークイン・オカダイ) Tel:086-251-8247

<http://www.momo.it.okayama-u.ac.jp/~sasakura/sanio/> Email: sasakura@momo.it.okayama-u.ac.jp

ワークショップ・分科会の内容

第1日 (13:00~15:00)

ワークショップ1 〈スクール・セクシュアル・ハラスメント〉防止と解決に向けて

コーディネーター：内田由理子 (詫間電波高専)

報告者：小倉久子 (『人間と生』教育研究協議会香川)

亀井明子 (スクール・セクシュアル・ハラスメント防止協議会全国ネットワーク)

このワークショップではスクール・セクハラの実態と二次被害を明らかにしながら、被害者への対応と解決方法に取り組みます。キャンパスでの問題と重なり合う点、教育実習生の被害にも目を向けながら、解決への道筋をみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

ワークショップ2 CAP (子どもへの暴力防止) ワークショップ〜誰にも〈安心〉〈自信〉〈自由〉の権利がある

ファシリテーター：CAP岡山連絡会

CAPは、少女へのレイプ事件をきっかけに米国で開発された「子どもへの暴力防止教育プログラム」です。今回は、性暴力やジェンダーに関する内容をピックアップし、(1)暴力とは、(2)権利について、(3)痴漢、(4)セルフ・ディフェンス、(5)ジェンダーの抑圧、(6)デートレイプ相談という流れで行う予定です。10代の若者になったつもりでご参加下さい。きっとエンパワーされますよ。

ワークショップ3 ウェン・ドゥー (WEN-DO) ~女性のための安心創出法ワークショップ

ファシリテーター：柳本祐加子、松本いづみ (あんしん堂・少女と女性のための安心創出法研究部会)

1972年カナダのペイジファミリーが創り出した少女と女性のための自己防衛術 WEN-DO (ウェン・ドゥー) をベースにした危険回避等の方法をお伝えします。ワークをご体験いただくと、自分を守るための様々な方法を実は私たちは既に持っていることにもお気づきいただけると思います。私たちのそんな「ちから」を実感できる機会をご一緒に分かち合ってみませんか。

第2日 (10:00~12:00)

ワークショップ4 セクシュアル・ハラスメント研修体験ワークショップ〜大学は何をすべきか

ファシリテーター：北仲千里・隠岐美智子 (NPO法人 フェミニストサポートセンター・東海)

架空のケースを題材にして、グループに分かれて議論するという作業を通じて、セクシュアル・ハラスメントとは何か、セク・ハラに大学が対応する手順やその場合の原則などを学んでもらう形式の研修です。

*参加者：30人程度までが上限 (最大36人程度)。大学の教職員 (セクハラ対策委員、相談員、管理職) を優先します。

分科会1 セクハラ専門相談員の役割

コーディネーター：周藤由美子 (ウィメンズカウンセリング京都)

報告者：白石恵美子 (ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA)、小柳茂子 (相模女子大学)

キャンパス・セクハラは大学特有の人間関係や権力構造が混雑するために学外の専門家にセクハラ専門相談員として委託する大学も増えてきています。それでは専門相談員はどのようなことができるのでしょうか。専門相談員の経験のある報告者から提起を行い、被害者の力になるような相談のあり方について考えたいと思います。

分科会2 「アカハラ」を考える〜概念再考と課題・可能性、学生ネットワークの確立を目指して

コーディネーター：湯川やよい (一橋大学)

報告者：秋田摩紀 (京都大学・アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク内「うさぎの会」(学生会) 代表)

金友久美子 (一橋大学・一橋大学内「学生ケアを考える院生小委員会」代表者)

菊地夏野 (京都大学・「キャンパス・セクシュアル・ハラスメントの困難・ホモ・ソーシャルな大学」著者)

何となく知っているようで実はよく知らない「アカハラ」について考えるシンポジウムです。学習・研究環境の改善と向上について広く知識共有、情報・意見交換し合える、大学、専門を越えた学生同士のネットワークが生まれることを期待して企画しました。パネラー3人は全て学生。異なる角度から、お3人各々のご活動についてお話いただきます。

分科会3 弁護士との連携を考える

コーディネーター：長谷川伸子 (NPO法人福岡ジェンダー研究所)

報告者：水田美由紀 (水田法律事務所弁護士)、高崎和美 (水谷法律事務所弁護士)、中山まき子 (鳴門教育大学教員)

セクハラ事件の解決には、裁判闘争をするにしろしないにしろ法律的な知識が欠かせません。加害者がいち早く弁護士をつけるというケースも増えていきます。この分科会では、防止対策システムづくり、事件後の対処、裁判過程などにおいて、弁護士とどのように連携をとれば有効かを考えます。当事者・支援者・弁護士のそれぞれがお互いに期待していること、反対に自分たちでしなければならぬことなどについて意見交換をしたいと思っています。

★宿泊が必要な方に岡大生協が宿泊斡旋をします。

岡山大学生協トラベルサービスセンター E-mail:Okayama.Shop@ma3.seikyuu.ne.jp Tel: 086-251-0204 (担当：平岡)

★懇親会を7月5日18:30から予定しています。参加希望者は、6月30日までに笹倉 (sasakura@momo.it.okayama-u.ac.jp) までお申し込みください。参加費は、一般5000円、学生3000円です。